

居住支援ニュースレター

2024年11月発行

今年度、一宮市では住宅と福祉が連携し、高齢者、障害者、子育て世帯、低額所得者、外国人などの属性により、住まいの確保が困難となる方に対して「住まいの確保・入居中の生活支援・退去後の支援」を一体的に支援する体制を構築するための居住支援協議会の設立に向けて取り組んでいます。行政の住宅部局と福祉部局がしっかりと連携するとともに、行政と民間事業者が連携し、切れ目のない支援・サービスが提供できる支援体制を目指します。

◎居住支援勉強会を開催しました

去る11月18日（月）に「知ってるようで知らない民間賃貸住宅のこと、市営住宅のこと」と題して第2回目の居住支援勉強会を開催しました。勉強会には75名の参加がありました。9月20日（金）に開催した勉強会に続き、多くの方に参加いただきました。



- 不動産関係者(9名)
- 愛知県住宅供給公社(1名)
- 居住支援団体(11名)
- 高齢者関係団体(7名)
- 障害者関係団体(6名)
- 医療関係者(2名)
- 葬祭業関係者(1名)
- 行政関係者(19名)
- 講師・オブザーバー(19名)

今回の勉強会は、「居住支援における住まい」について住宅と福祉の両面から捉える内容となりました。

勉強会では、情報提供として国土交通省住宅局安心居住推進課の西澤様から住宅と福祉の関係、福祉の支援が必要な方に対する大家等の意識や入居拒否の状況、空き住戸の居住支援への活用事例、居住支援体制の整備などについて説明をいただきました。また、講話として（公社）愛知共同住宅協会の杉本様から「居住支援における『住まい』とはどんなもの」と題して、民間賃貸住宅と行政のこれからの関わり方、大家等が入居を拒む理由、それを克服するための連携としくみについて問題提起がされました。その後のパネルディスカッションでは、（公社）愛知県宅地建物取引業協会の濱地様、（株）ブルーボックス一宮支店の石上様、一宮市福祉部福祉総務課福祉総合相談室の渡部、一宮市建築部住宅政策課の永田が登壇し、それぞれの立場からお話しいただきました。その中で、住まいを提供する不動産事業者のリスク（本音）の部分についてのお話を伺い、福祉の支援が必要な方への支援と同時に、大家等のリスクにも配慮した入居中・退去時のしくみが必要であることを参加者で共有することができました。その後、各グループに分かれ、住まいを貸す側と借りる側の立場の違いについて意見交換し、どうしたらそのギャップを埋めることができるのかを話し合いました。その中で、不動産事業者に対して福祉の窓口や支援・サービスの情報がうまく周知できていないのではないか、相談者の支援内容を整えてから入居してもらうのがよいのではないかなど不動産業者に寄り添った提案がされました。

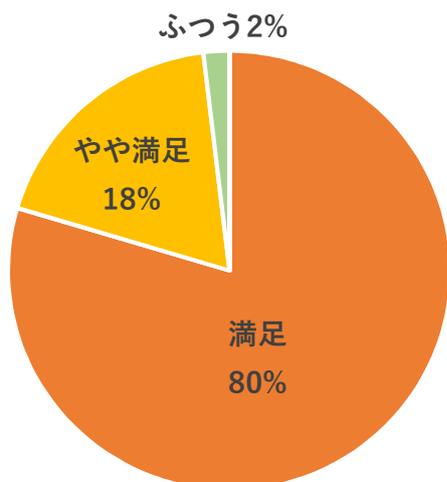
勉強会閉会後も参加者同士の交流する姿があり、着実に一宮市の居住支援のつながりが生まれていることを実感する勉強会となりました。今後もこのような勉強会を開催し、居住支援関係者同士のネットワークを広げるとともに、居住支援に関する情報を発信していく必要があると感じました。

居住支援協議会の設立に向けて大きく前進することができました。

◎居住支援勉強会のアンケート結果

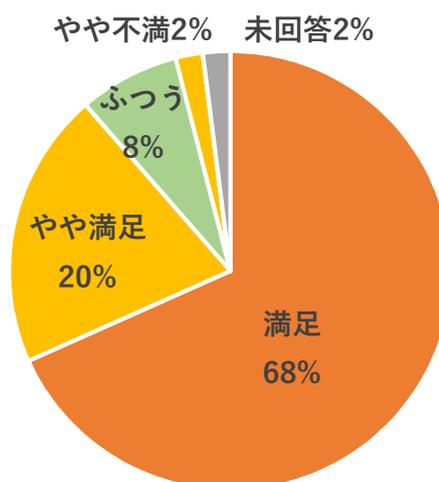
■勉強会の内容について満足度を聞きました。

①講話・パネルディスカッションについて(n=54)



「満足」又は「やや満足」と回答した方が9割以上となっています。住宅を貸す側のリスクについて知ることができたとの声が届いています。

②グループワークについて(n=54)

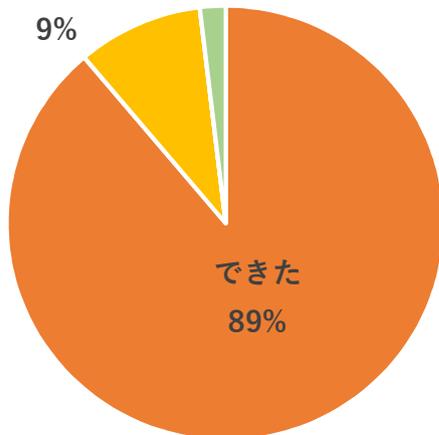


「満足」又は「やや満足」と回答した方が8割以上となっています。少人数で、具体的なケースについて議論をしたいとの声も届いています。

■勉強会に参加して習得できたこと、居住支援の必要性について聞きました。

①居住支援についての知識の習得について(n=54)

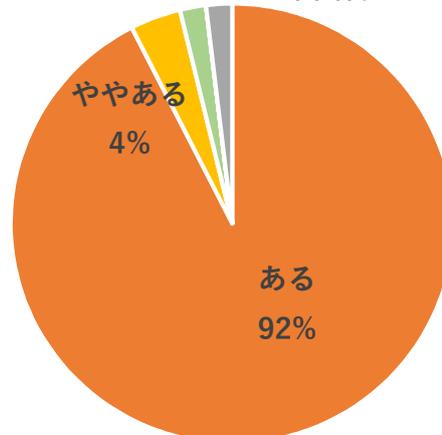
どちらともいえない 未回答2%



「できた」と回答した方が8割以上となっています。福祉の支援が必要な方の住まい探しが困難な理由について学びました。

②居住支援の必要性について(n=54)

どちらともいえない2% 未回答2%



「ある」又は「ややある」と回答した方が9割以上となっています。参加者の多くが居住支援の必要性を感じています。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

2回の勉強会をとおして、入居前～入居中～退去時までの途切れない支援の必要性を共有するとともに、そのような支援をするための「しくみ」の必要性についての認識も深めることができました。

◎居住支援協議会設立に向けて本格始動

今年度中の居住支援協議会設立に向け、来年1月より本格的に設立に向けた準備が進んでいきます。2回の勉強会で広がったこの居住支援の輪を大切にしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いたします。